

もみじ講演会を開催します

今年ももみじでは3月に講演会を開催します。テーマは「東京2025デフリンピック大会」(※「デフ」は英語で「耳がきこえない」という意味。デフリンピックは「デフ」+「オリンピック」で、オリンピックと同じく4年ごとに開催されます。世界のデフアスリートが一堂に会し競い合う国際総合スポーツ競技大会です)。

講演会の講師は、デフリンピックと言えばこの方、公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構東京聴覚障害者連盟会長の栗野達人(あわのたつひと)氏。

実は、コロナウイルスがなかなかおさまらなかった2021年に企画し、栗野氏に依頼したものの泣く泣く中止にした幻の講演会。やっと実現できます。その頃の世間でのデフリンピックの認知度はかなり低く、とにかくみんなにデフリンピックが何かを知ってほしいと思って企画したことを思い出しました。さて、今はどうでしょうか? まだまだまだ知らないかもですね。もっともっと盛り上げて、みんなで応援していきましょう!

今年11月の開催に向けて最前線でご活躍されている栗野氏の講演、ご期待ください。皆さまの参加をお待ちしています。がんばれ日本!!

2025年3月の予定

- 3月6日(木) 10時~11時30分
地下研修室
- 3月13日(木) 10時30分~12時
講演会
「東京2025デフリンピック大会」
※詳細は2ページ 地下研修室
- 3月20日(木・祝) 休み**
- 3月27日(木) 10時~11時
総会準備 地下研修室

2月の予定に間違いがありました。
申し訳ありません。

お問い合わせ

shuwamomiji30@yahoo.co.jp

会員より 春物語

年が明け早いもので如月(きさらぎ)も月半ば。彼此(かれこれ)20年ほど前になるか、知人から譲り受けた一鉢の春蘭(しゅんらん)。数年楽しんだ後、いつの間にか人目につかない庭の片隅に忘れていた。昨春ふと思い出しひっぱり出すと、何の手入れもないまま鉢の中で窮屈(きゅうくつ)そうに無数の花を咲かせていた。可憐(かれん)な花は薄緑(うすみどり)よりもさらに淡い色。野に自生すると聞いていた春蘭の花言葉は「飾らない心」「控えめな美」「気品」「清純」とまさしくまさに。花が終わったあと古い葉を手入れし、やっとの思いで鉢から抜き出して株分けした。晩夏(ばんか)になって庭に横たわるニラに似た葉を見て「あっ」と思い出した。雑草じゃない。株分けした時に根が落ちた場所だと。今は鉢にも細長い葉が垂れ下がっている。二つの鉢と土に根付いた春蘭たち。可憐な花を咲かせるまで後わずか。(M)

講演会のご案内

日時 2025年3月13日(木) 10:30~12:00

会場 福祉センター地下研修室

テーマ 「東京2025デフリンピック大会」

講師 栗野 達人氏

公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構
東京都聴覚障害者連盟会長

参加費 無料 手話通訳つきです

デフリンピックを
楽しもう

デフリンピックを
学ぼう

デフリンピックの
その先の未来を考えよう

手話サークル「もみじ」では、東京2025デフリンピックをテーマとした講演会を開催いたします。

講師に栗野達人氏をお迎えし、デフリンピックの意義や準備状況、そして聴覚障害者スポーツの未来についてご講演いただきます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

お問い合わせ 手話サークルもみじ shuwamomiji30@yahoo.co.jp